

ひだまり

第17版
平成30年6月
公立八鹿病院 緩和ケア病棟



今月は **医療用麻薬** についてお話しします

闘病中、患者さんは痛みや息苦しさ、しびれ感などを伴い、苦しいことがあります。自分らしく生活するためには、これらの苦痛を我慢しないことが大切です。我慢すると眠れなくなったり、食欲がなくなったり、不安になったりして、身体の調子を悪くします。苦痛を取り除くことで食欲が出て、ぐっすり眠れ、自分のしたいことができるようになります。そのように苦痛を取り除く手段の一つとして医療用麻薬がありますので、紹介したいと思います。



●「麻薬」(モルヒネ等)にどんなイメージをお持ちですか？

- ・ 麻薬中毒や麻薬依存症になってしまう
- ・ 寿命が縮まる
- ・ 麻薬はいつか効かなくなる
- ・ 麻薬が効かなくなったらもう手はない
- ・ 麻薬を使うのは末期がんの患者さんだけである

これらは**全て**
間違**った**知識です

医療用麻薬とは、自分らしく生活をしていただくため、正しい方法で患者さんの苦痛を取り除き、痛みをコントロールするためのものです。

●医療用麻薬と不正麻薬・覚せい剤の違いを知ること重要です！

	医療用麻薬	不正麻薬・覚せい剤
法律	麻薬及び向精神薬取締法により、医療用に使用が許可されている	麻薬及び向精神薬取締法により、使用所持、譲渡、製造、輸出、輸入が禁止されている
特徴	痛みがある状態で使用すると、中毒にならない	快楽のために用いられ、かつ依存性を有する
代表的なもの	モルヒネ、フェンタニル、オキシコドン、トラマドール、タペンタドール、メサドンなど	ヘロイン、コカイン、MDMA、LSD 覚せい剤、大麻など

●痛みのパターンと医療用麻薬の使い方

痛みのパターンには**持続痛**と**突出痛**があります。

持続痛

24時間のうち12時間以上
経験される平均的な痛み



決められた時間(等間隔)に服用することで持続痛を和らげる。

突出痛

持続痛や鎮痛薬使用の有無に関わらず発生する一過性の痛みや痛みの増強。



突出痛が出てきたときは我慢せずに頓用薬(レスキュー:すぐ効く薬)を使う。

●代表的な副作用について

便秘・吐き気・眠気があります。便秘は約8割の人に現れ服用中は継続しますが、下剤を服用して調節することが出来ます。吐き気や眠気は個人差があるので、症状があれば、早めに対応できます。

医療用麻薬による痛みの治療は、次の2点が大切です。

“痛み”を我慢しないこと

“副作用”と上手に付き合うこと

医療用麻薬の正しい知識があれば、安心安全に痛みのコントロールが出来ます。

～実際に医療用麻薬を使用されている患者さんの声をご紹介します～



- ☆薬のことはわからないけど症状を伝えてあとは先生にお任せして、痛みや苦しみを助けてもらおうという気持ちです。
- ☆しびれが強かったけど、薬を変えて楽になった。
- ☆眠気が強くて起きていられなかったけど、薬を変えて眠気はあっても会話ができるようになった。

～編集後記～



梅雨に入りジメジメした季節になりましたが、庭園のあじさいがとても綺麗です。天気のいい日には患者さんと散歩に行き、元気に咲いているあじさいを眺め、患者さんと一緒にスタッフも癒されています。(編集委員)